

事務事業名		政務活動費交付事務		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		議会事務局		事業種別	政策	開始	12	終了	
H28担当課等名		議会事務局		H28係等名	調査係		H27係等名 調査係		
基本計画上の位置づけ		政策	9	市民と共に進める行政経営					
基本計画上の位置づけ		施策	91	市民参画による協働の促進					
目的	対象(誰・何を)	飯田市議会議員 (交付金の交付先=会派(無会派含む))			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	市政に関する調査研究活動ができ、議員活動の状況を市民に知ってもらえる。				①飯田市議会を構成する会派(無会派含む)数		5	
	向上させたい上位施策の成果指標	協働のまちづくりが進められていると感じている市民の割合				②飯田市議会議員の現員数			
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	議会の代表質問・一般質問等に於いて、取り上げた調査項目数			30	29	30	-	
	副指標	政策提言等により実現した政策等							
定性目標									
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市議会各会派等では、市の課題解決に向け議会として提言するため、先進事例視察など各種調査研究活動を行う。その調査研究活動の支援のため、市から各会派等に対し議員一人当たり年額14万円の政務活動費を交付する。 ※政務活動費の活用に関しては、議会として「申し合わせ事項」を作成し、一定のルールに基づき執行している。 年2回、政務活動報告会を開催し、市側の部課長にも出席願い報告を行っている。報告の概要は市議会だより、市の公式サイト、各会派広報誌に掲載し市民に周知している。 政務調査費を活用した主な活動は次のとおり 市政課題の調査研究 先進事例等の視察・研修 上記の調査、視察研修に基づく代表質問、一般質問での課題に対する提言及び会派による市への予算要望活動 								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 政務活動費を活用した調査研究活動				1 調査研究項目数		1 31件		
	2 政務活動調査報告会				2 開催回数		2 2回		
	3 各会派への交付金				3 交付金		3 3,220千円		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		3,104	3,220	3,203	3,220				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		3,104	3,220	3,203	3,220				
人件費計(千円)②		1,788		1,788					
正規職員所要時間		500		500					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		4,892	3,220	4,991	3,220				
事業内容・目標達成状況の振り返り	政務活動費の活用に関しては、議会の「申し合わせ事項」に則り、ルールに基づき各会派で実施された。								
改革改善の考え方	①問題点	政務活動費の用途については、市民関心も高い。市民に対し、適正な支出、調査活動報告など、より透明性を高め、情報を周知する必要がある。							
	②改革提案	市議会ホームページで、活動内容や収支等を掲載し周知するほか、政務調査報告会のあり方や手法については引き続き検討が必要である。							